

## 臨床研究「中心静脈管理指導医制度の成果と課題」について

筑波大学附属病院麻酔科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

中心静脈カテーテルの挿入は致死的な合併症を含む、0.1～1%程度で重篤な合併症を起こす可能性のあるハイリスク医療行為です。より安全な中心静脈カテーテル確保のため、筑波大学附属病院では2011年4月1日より試験運用期間とし、2012年9月1日より中心静脈管理指導医制度を導入しました。中心静脈管理指導医制度の導入より10年が経過したが、制度導入により中心静脈カテーテル挿入に伴うインシデントおよびオカレンスの数は変化したのか、また、その重篤度は変化したのかを評価することを目的としています。中心静脈管理指導医制度の有効性を評価するとともに、制度の改善が期待されます。

### ② 研究対象者

2008年4月1日から2021年3月31日までに、筑波大学附属病院で中心静脈カテーテル穿刺を受けられた患者様

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年3月31日まで

### ④ 研究の方法

臨床医療安全管理部に報告されたインシデント・オカレンスの数およびその影響度を中心静脈管理指導医制度導入前と導入後で比較します。当院で行われた中心静脈カテーテル挿入件数を把握するために、中心静脈カテーテル挿入の保険請求件数を調査するとともに、中心静脈カテーテルキットの払い出し数を調べる。また、中心静脈カテーテルキットに添付され、カテーテル穿刺したら提出が義務付けられている「中心静脈カテーテル穿刺兼指導記録」の数を調べることで、この制度の順守率を算出します。

また、昨今、末梢挿入型中心静脈カテーテルが増えています。当院では末梢挿入型中心静脈カテーテル挿入については、管理指導医制度の範疇とはしていませんが、末梢挿入型中心静脈カテーテルの挿入件数およびインシデント・オカレンス件数についても調べ、その他の中心静脈カテーテル挿入と比較検討します。

### ⑤ データ管理責任者名

筑波大学附属病院 山本 純偉

### ⑥ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 山本 純偉

### ⑦ 本研究への参加を希望されない場合

本研究への参加を希望されず、情報の利用または提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もごさいます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：麻酔科 担当 山本 純偉

電話・FAX・029-853-3092（平日 9～17 時）